

健康を大切に。環境を大切に。

No.

29

2022.5

中部公衆だより



Photo : 東野の大獅子



一般財団法人
中部公衆医学研究所

騒音障害防止ガイドラインの見直しについて

厚生労働省より令和4年3月22日付けで「騒音障害防止のためのガイドライン見直し方針」が公表されました。これにより、平成4年10月に示されたガイドラインが30年ぶりに見直されることとなりました。この主な改正点をご紹介します。

1. 騒音作業場の見直し

基本的には現行ガイドラインで示されている作業場を対象としています。別表2の例示作業に、建設業、第三次産業等での典型的な作業場が追加されています。

2. 騒音測定方法の見直し

屋内作業場での作業環境測定も現行どおりです。しかし、騒音発生源が頻繁に移動する等の作業では個人ばく露測定によりばく露レベルを把握することとしています。

屋外作業場では個人ばく露測定でばく露レベルの把握を行います。また、周囲の騒音が著しい場合は、発生源装置固有の音響パワーレベルによる推計も可能としています。

3. 健康診断項目の見直し

経緯としては、以下となります。

○選別聴力検査

現行検査方法：1,000Hz純音の30dB、4,000Hz純音の40dBが聞こえるかどうかの検査

問題点：前駆期(30dB以上)に至る前までの発症予防が難しい

○気導純音聴力レベル測定

現行検査方法：250、500、1,000、2,000、4,000、8,000Hzについて実施

問題点：6,000Hzにも聴力損失が伺えることがある

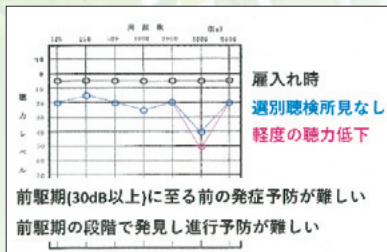


図1 閾値測定の必要性

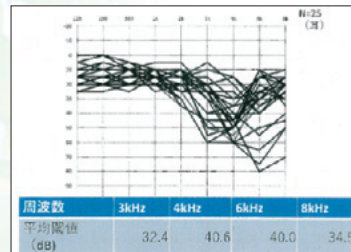


図2 重ね合わせオージオグラム



図3 dipの位置

以上により、各種健康診断項目及び健康管理区分は以下のとおりとなります。

(1) 騒音健診対象者

等価騒音レベル 85 dB (A) 以上となる可能性の高い業務に常時従事する労働者。ただし、発生源対策等により騒音ばく露レベルが常に 85 dB (A) 未満に抑えられた作業場の労働者は除かれます。更に定期健康診断に関しては、6ヶ月以内の作業環境測定結果が第1管理区分である作業場で従事する労働者は除かれます。

(2) 雇い入れ及び当該業務への配置換えの際の健康診断

気導純音聴力レベル測定

250、500、1,000、2,000、4,000、6,000、8,000Hzについて実施

(3) 定期健康診断

6ヶ月以内ごとに以下の一次検査を実施。ただし、過去の検査で異常が認められた方は、一次検査を行わずに二次検査を実施することも可能。

・一次検査：選別聴力検査

1,000Hz純音の30dB、4,000Hz純音の25dB及び30dBが聞こえるかどうかの検査

・二次検査：気導純音聴力レベル測定

一次検査で1,000Hzまたは4,000Hzの30dBの聴力検査に異常が認められた方に実施

雇い入れ及び当該業務への配置換えの際の健康診断と同内容の検査

(4) 健康管理区分

雇い入れ及び当該業務への配置換えの際の健康診断及び定期健康診断(二次検査)の結果に基づき、以下の健

健康管理区分を決定します。

- ・会話音域 (250～2,000Hz)・・・3分法平均聴力レベル (500、1,000、2,000Hz)
- ・高音域 (4,000～8,000Hz)・・・4,000、6,000Hzの聴力レベルのうちで悪いほう

聴力レベルに基づく健康管理区分

会話音域 高音域	30dB未満	30dB以上 40dB未満	40dB以上
30dB未満	管理A	管理B2	管理C
30dB以上 50dB未満	管理B2	管理B2	管理C
50dB以上	管理C	管理C	管理C

※管理A：異常なし 管理B2：要観察 管理C：要管理

4. 今後の対応

今夏にはガイドラインの公表がありそうですが、いつからの施行は不明なところですが、近々改正されることは事実です。施行日等の公表がありましたら当所からもお知らせしたいと思います。事前に詳細を確認されたい方は厚生労働省のホームページで検索ください。

公益財団法人JKAオートレース補助事業の完了のお知らせ

当財団では、地域の健康診断での更なるニーズにお応えするために、子宮頸がん検診車の更新を進めて参りましたが、この度、公益財団法人JKAから「2021年度婦人科検診車の整備補助事業」の補助金交付を受け、令和4年3月に子宮頸がん検診車を更新購入致しました。

○2021年度婦人科検診車の整備補助事業

事業内容：子宮頸がん検診車の整備

補助金額：19,800,000円

実施場所：長野県飯田市高羽町6丁目2-2

完了年月日：令和4年3月30日



○導入した「婦人科」検診車の特徴

①大容量インバーター発電システム

従来の発電機による電源の確保に比べ、排気ガスの発生や騒音・振動がなく、快適な環境で検診ができます。

②検査室及び脱衣所の快適化

十分な検査スペースを確保することで、検査精度の向上、受診者の安全確保が可能となります。脱衣所を個室にすることで、受診者のプライバシー保護がより確保されます。



今回の導入により、精度の向上・プライバシー保護の推進・環境負荷の低減が進みましたので、地域住民の方々の子宮疾患の早期発見による健康保持・増進へ更に貢献致します。

一般財団法人 中部公衆医学研究所
理事長 西澤 良斉

胃がん検診受診に関する確認書について

当所では、胃部X線検査を受診されることにより受診者様の不利益に成ると想定されるような状況や、自覚症状や既往歴などを確認し、検査可能かどうかを判断する安全基準を設けております。

事前に「胃がん検診受診に関する確認書」をお渡ししますので、検査までに禁忌の内容をご確認ください。

当日、ご署名いただき検査実施となります。

確認書の項目は以下の通りになっております。



1. 胃の切除手術をした
2. 1年以内に開腹手術(腹腔鏡、帝王切開を含む)をした
3. 腸閉塞、腸捻転の既往
4. 3日間以上の便秘
5. 過去にバリウムが気管に入った
6. バリウム検査をして具合が悪くなった
7. バリウムでアレルギーが出た
8. 水分制限がある
9. 体重が130kg以上ある

上記確認事項に該当される方は、当所での胃部X線検査は受診していただけません。

上記以外の、当日の確認事項として

- 食事の有無
- 体調不良の有無
- 糖尿病薬使用の有無
- 当日の血圧値

なども確認させていただいております。

こちらは別日での受診が可能であり、できる限り多くの方に受診していただけるよう配慮しております。

当所では今後も高い精度の検査を行う上で、受診者様に安全に検査を提供できるように努めて参ります。

よろしくお祈いします



編集
後記

皆様今年のGWはいかがでしたでしょうか。やはりコロナ前のような楽しみ方は難しかったかと思えます。外出を控えた方も多いことでしょう。気兼ねなく出かけられる日はいったいつになることやら。とはいえ顔を上げれば爽やかな新緑。自然豊かな飯田の地で日常を過ごす楽しみだけでも逃さず、にしようと思うこの頃です。
(機関紙発行委員会)

中部公衆だより
第29号

発行

一般財団法人 中部公衆医学研究所 〒395-0051 長野県飯田市高羽町6丁目2-2
電話(0265)24-1777(代表) FAX(0265)24-2330 <http://www.chubukosyu.or.jp>
健康づくり部 企画情報課:(0265)24-1505 健康相談課:(0265)24-1507 環境衛生部:(0265)24-1509